

「地域課題分野」(平成27年度採択)

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
河川水位変動に伴う漏水面の特性変化が地下水涵養量および河川流量へ及ぼす影響の評価（研究期間：H27年～H28年）	岐阜大学 児島 利治	C
<研究概要> <p>研究代表者らは、扇状地での地下浸透によって河川流量の約20%の失水を明らかにしたが、そのメカニズムは不明であった。そこで、以下の4つ研究アプローチによって課題解明を試みる。(1) ボーリング等の各種調査資料に基づいて地盤情報を3次元モデル化し、地盤構造と地下水流動の特徴を掴む。(2) 最も河川流量が減少していると考えられる地点に観測孔を設け水位および水質の定期観測から砂州内部の地下水流動を把握する。(3) ADCP観測から河川流量の縦断変化を把握する。(4) UAVの地形測量に基づく数値計算 (River2D) によって扇状地での表流水ー地下水流動を把握する。</p>		
<事後評価コメント> <p>河川からの漏水と地下水挙動について、観測とモデル計算により概ね状況が把握されており、一定の研究成果があった。 しかしながら、計測精度や解析の前提条件等に課題があること、それに対する誤差評価が不十分なため、結果の信頼性に疑問が残る。</p>		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い